

四街道市青少年育成センターだより

令和6年2月7日 第282号
四街道市青少年育成センター発行
四街道市鹿渡2001-11
電話 043-421-7867
FAX 043-421-7871
E-mail yseishonen@city.yotsukaido.chiba.jp

一期一会

謙虚であること、相手を尊重すること

四街道市小中学校校長会

副会長 長谷川由美子

(四街道市立中央小学校長)

結局道徳科では、子供たちに何を教えるのでしょうか。私はこれまでの教員人生で、道徳教育に深く関わってきました。教育委員会に勤めていた際、多くの道徳科の授業を見せていただく中で、ずっとその問いの答えを探していました。内容項目といわれる道徳的な価値の奥にあるもの、共通するものは何だろうか。そして、それは「謙虚であること、相手を尊重すること」ではないか。と思い当たったのです。例えば「思いやり」は、上から目線で「親切をやってやる」のでは相手の尊厳を傷つけてしまう。そこで、相手の困り感に寄り添い、相手の立場に立って考えて行動することが大事なのではないかと。また、「自然愛護」は、人間が自然を守ってやるという驕った立ち位置ではなく、人間の力を遙かに超えた自然を畏れ敬い、人間は自然に生かされているということを踏まえた上で、できることを考えさせるのが大切なのではないか。「友情、信頼」では、自分と友達が相互に尊重し合い対等な関係なのかどうかを振り返らせることで、より深い友情や信頼が築けるのではないか。そして、「生命尊重」では、幾千幾万の奇跡が重なって今の自分が存在することに気付かせることがまずもって大事なのではないか、と。そう考えると、授業のゴールがはっきりと見えてきて、指導助言に一貫性が生まれ自信が持てるようになりました。

それでは、なぜ、道徳科でこのような学びをするのでしょうか。それは、円滑な人間関係を築くために必要不可欠だからだと考えました。社会は人がつくるものですから、ひいては、誰もが暮らしやすい社会を築くために、道徳科の学びは必要だということになります。

私たちが生活する集団や組織、社会には、様々な人がいます。どんな人でもその人の優れたところを尊重し、相対すればきっとよりよい人間関係が築けると私は思います。なぜなら、どんな人も人間としての誇りがあり、それを傷つけてはいけなく、傷つけられたくはないからです。

学校や社会で起きるトラブルを耳にするたび、もし、その当事者に少しでも自分の考えや振る舞いを謙虚にとらえ、相手を尊重することができたなら、行き違いは起きなかったかもしれないし、相互にわかり合うこともできたのではないかと感じてしまうのです。

私は、校長として第1回職員会議の冒頭に、この話をしています。職員には、この気持ちをもって児童や保護者、地域の方に接し、よりよい関係を築いてほしいと願うからです。

「謙虚であること、相手を尊重すること」これが、今の私がたどり着いた「道徳科で何を教えるのか」の答えであり、大事にしたい心持ちです。しかし、私が学び続ければ、もっと深い答えを探しあてることができるのではないかと考えています。ですから、私はこれからも、謙虚な姿勢で自分の問いの答えを探し、様々な人から学び続けていきたいと思っています。

当センターでは子どもと保護者の悩み相談を受け付けています
四街道市青少年育成センター (月)～(金) 9:00～17:00
相談専用電話 043-423-0066 フリーダイヤル 0120-423-0066
青少年育成センターへは市役所第二庁舎からも裏側通用口を利用して入ることもできます

補導委員の「愛の一声」と青少年の風景



青少年育成センターでは、職員と補導委員が計画的に駅前や公園、市内の大型店舗等を巡回する「街頭補導」を実施しています。主な目的は「補導」ではなく、出会った青少年に「愛の一声」をかけ、犯罪に巻き込まれたり不審者に出会ったりしないよう注意喚起をすることです。

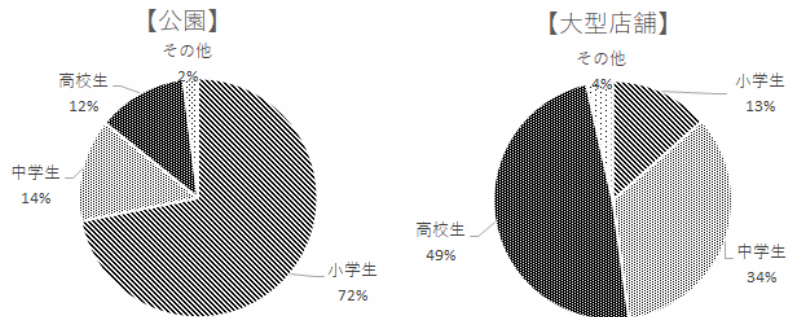
| | 小学校 低学年 | 小学校 高学年 | 中学生 | 高校生 | その他 | 合計 |
|-------|------------|------------|-----|-----|-----|------|
| 公園 | 137 | 369 | 98 | 86 | 10 | 700 |
| 大型店舗 | 46 | 106 | 388 | 549 | 40 | 1129 |
| 駅 | 2 | 1 | 3 | 92 | 0 | 98 |
| コンビニ等 | 0 | 4 | 0 | 7 | 0 | 11 |
| 路上 | 134 | 62 | 29 | 167 | 4 | 396 |
| その他 | 0 | 5 | 30 | 50 | 0 | 85 |
| 合計 | 319 | 547 | 548 | 951 | 54 | 2419 |

左の表は、4月から12月までの声かけした場所と学職別の人数をまとめたものです。また、下の円グラフは、公園及び大型店舗での声かけ人数の割合を示したものです。

公園では、小学生が72%となり、安全な遊び方や帰宅をよびかけることが多くなります。大型店舗では、中高生が中心で(83%)、帰宅を促すだけでなく、悩み相談事について、気軽に来所や電話での相談をするよう呼びかけています。

最近では、大型店舗の前の都市広場で自転車に乗っている中高生や、フードコートで試験期間中に集まって勉強している高校生や、お化粧をしている女子高校生等が目につきます。

また、公園では遊びに来た小学生が乗ってきた自転車をあちこちに無造作に置いて遊具や屋根付きの広場で遊ぶ姿が目につきます。(中央公園は原則自転車の乗り入れは禁止になっています。)



不審者情報の現状

今年度は例年になくよめーる発信は少なく、1月末までで、下記の2件になっています。(令和4年度は12件、令和3年度は7件)

| 日時 | 曜 | 時間 | 場所 | 内容 |
|-------|---|-------------|--------|---|
| 5月24日 | 水 | 17時頃 | めいわ4丁目 | 住宅を覗き込んでいた男が、遊んでいた男児に「この家に住んでいるの？」などと声をかけてきた。 |
| 6月29日 | 木 | 13時 30分頃 | 和良比地区 | 市内の事件で包丁を所持した男が逃走中(警察より情報提供) |

上記以外に、育成センターには22件の情報提供がありました。(軽易な案件のため情報発信はなし) 事案別では、不審行動(7)声かけ(6)つきまとい(5)盗撮(3)その他(1)です。

2月、3月は日没が遅くなり、子どもたちが外で遊ぶ時間が増えて不審者情報が増える時期です。子供たちを見守る目が最大の抑止力です。地域での見守りをお願いします。

○1月の相談活動 [41件]

| | | | | | |
|----|----|----|----|-----|---|
| 電話 | 16 | 来所 | 23 | 訪問等 | 2 |
|----|----|----|----|-----|---|

○1月の不審者情報 よめーる発信は、ありませんでした。

○令和6年3月の街頭補導予定(14回)

| | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1日(金)A | 4日(月)C | 5日(火)E | 7日(木)B | 11日(月)F | 13日(水)D | 14日(木)C |
| 15日(金)D | 19日(火)C | 21日(木)D | 22日(金)E | 25日(月)D | 26日(火)F | 27日(水)B |

A 7:30-8:30 B 10:00-11:00 C 14:30-15:30 D 16:30-17:30 E 17:30-18:30 F 18:30-19:30

